

# 要 旨

## シラバス可視化システムの構築

木下 聡

近年，多くの大学でシラバスが導入されている．シラバスには，講義でどのような内容が扱われるか，講義がどのように進められるか，どのように成績が評価されるかといった内容を学生に事前に示す冊子である．学生はこれを読むことで，講義の内容を知り，履修計画を立てている．

しかしながら，現在のシラバスにはいくつかの問題点があることが指摘されている．1つは現在のシラバスでは，科目と科目の間に存在する関係が読み取りづらく，これが学生の履修登録を難しいものとしていることである．またもう1つに，各大学が作成したシラバスは記述項目や記述方法に差があり，シラバス同士の比較が困難であることが挙げられる．シラバス同士が比較できた場合，その大学の講義の特色を明らかにすることができたり，学生の学習の目安などになることが考えられるため，学習意欲の向上につなげられるのではないかと推測される．

そこで，本研究では，各大学のシラバスを体系的に記述し，シラバス同士の比較を可能にする．また，体系的に記述されたシラバスのデータ項目から，暗黙的な情報である科目間に存在する関係を可視化し，学生の履修支援を行うシステムを構築する．

**キーワード** シラバス，オントロジー，可視化

# Abstract

## Development of Syllabus Visualization System

KINOSHITA Satoshi

In recent years, most universities are using syllabus. A syllabus is a booklet that shows outline of a subject concisely. By referring syllabus, students grasp the contents and make their schedules. However, syllabus have some problems. The problems are as follows: students cannot understand the roles of each subject on the entire curriculum, there is no standardization style of syllabus.

In this paper, we propose a systematization of syllabus to compare each syllabus. And we visualize the relations between each subject from systematized data of syllabus. Therefore, we develop the syllabus visualization system to support students' scheduling.

*key words* Syllabus, Ontology, Visualization